M. 祈り

多くの宗教において「祈り」は、「唱える」ことであり、「どんな言葉（経文）を、どんな形（いつ、どこで、どんな姿勢で、何回）唱えるか」、あるいは、「どれだけ思いを込めて唱えるか」が大切とされます。それは祈りの対象がどこにいるか、そもそも本当に存在しているか分からないからです。しかし、クリスチャンの祈る対象である神は、いつもともにおられ、私たちに耳を傾けてくださる方です。本当の祈りは、形よりも、聞いてくださっている神を意識して祈ることが大切です。祈りには、神に対する「感謝」や「賛美」のように一方向に近い祈りから、欲しいものを求める「願い」や御心を「尋ねる」祈りなど「会話」に近い祈りまでありますが、いずれも対象である神を意識して祈ります。祈りの中で、私たちは神との生きた人格的交わりを持つのです。

1. 祈りの基本 — 神の子供となった特権

(1) キリストを信じた者は神の子供とされ、神に愛されている（ヨハネ 1:12 1 ペテロ 5:7）

(2) 贖われてキリストのものとなったゆえに、キリストの名で祈ることができる

「イエス・キリストの御名によって祈る」というのは、この文言を唱えることに特別な効果があるのではなく、「キリストゆえに神が聞いてくださっている」ことを信じ、実感しながら祈ることに意味があります。

2. 願いがかなえられる条件

(1) 御心になかったことを願う（1 ヨハネ 5:14 ヤコブ 4:3）

(2) 聖書の約束を信じ切ること・御言葉への従順（ヘブル 11:6 マルコ 11:23-24 箴言 28:9）

(3) 気づいている全ての罪から清められること（詩編 17:1-3 イザヤ 1:15-18 マルコ 11:25）

(4) 忍耐強く祈り続ける（ルカ 11:5～9）※切実さ（箴言 3:5-6 2歴代20章, 2列王19章）
ヨシャファテの祈り ヒゼキヤの祈り

3. 執り成しの祈り — 教会の建て上げのために最も必要なこと

(1) 集会の兄弟姉妹のために祈る（エペソ 6:18）

(2) 世界の宣教者・伝道者・牧会者のために祈る（エペソ 6:19, 20 ヘブル 13:3）

(3) この世の支配者のために祈る（1 テモテ 2:1～3）

「執り成しの祈りの手帳」を作りましょう

教会の建て上げのために、まず取り組むべきこと、そして生涯取り組み続けるべきことは、同じ集会の兄弟姉妹一人一人のために祈ることです。バプテスマを受けたら集会の名簿に沿って、一人ひとりを覚え、毎日最低一人ずつ祈るようにしましょう。

4. 祈り会

兄弟姉妹の個人的祈りの課題や、集会全体の祈りの課題を知り祈ることは大切なことです。祈り会は、毎週水曜日の午後 7:30 から行われています。バプテスマが近づいたら、平日夜の集会にも出られるように、時間の調整等、準備をしましょう。